

その花火好きが知られて
東京は両国の
川開き花火大会の審査員も
つとめたほのです



故郷浅川町の花火と
対比しながら
その美しさを
大いに称えられた
ようです

一九六一年(昭和三六)
吉田富三博士は
文部省より国語審議会の委員に
任命されました



国語審議会とは
日本語のあるべき姿を
審議するところです

当用漢字表に修正を

国語審議会 第七回会合

日常語

それまで、

むずかしい漢字の制限や

かなづかいの改定を

おこなってきました

これからは、
漢字の制限を緩和し、
かなづかいの改定を
おこなうことになりました。



東京国語審議会 第七回会合 五月十三日 東京・千代田
区の皇居内会堂にて開会。出席者、吉田富三博士、
三浦信之助、佐藤栄次、藤田幸三、藤田幸三、
「お父さん」や「岡」「藤」

7